



まちづくり協議会・「コミュニティセンター」だより

災害特集号

台風のシーズンがやってくる！ 山中比叡平の防災対策 「災害に備える」

梅雨の末期の豪雨で洪水や崖崩れ等が起り熊本県南部を中心に大きな被害が生じたことは記憶に新しいところです。これから台風シーズンを迎えるにあたり、山中比叡平の防災についてお知らせします。

山中比叡平学区は谷筋の町である山中町と山を削り谷を埋めて造成した大規模造成宅地の比叡平からなっています。山中町はその立地条件から過去に大雨による土石流などの被害を受けてきました。近年、上流部に数多くの砂防堰堤が築かれたことにより土砂災害の危険度は以前よりも下がっているものの、依然として全域が土砂災害警戒区域に指定されていますので引き続き大雨には警戒が必要です。比叡平地域もその周縁部のほとんどが土砂災害警戒区域に指定されており、急傾斜地の崩壊



写真2

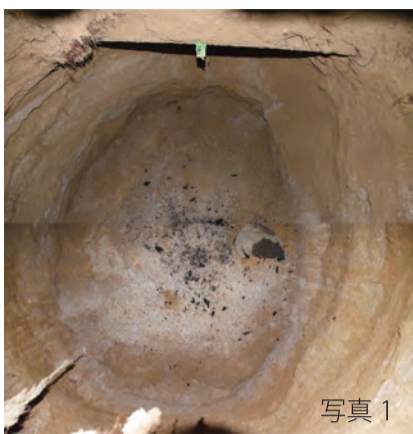


写真1

(写真1：盛土の崩落の例、2016年9月1丁目)の恐れがあります。周縁部以外でも大地震による滑动崩落や不同沈下、経年劣化による盛土の陥没(写真2：道路の3m陥没の例、2014年9月3丁目)など、谷埋め盛土の造成宅地特有の問題もあり、学区全域で防災対策が必要になっていきます。

2018年の台風21号では26時間におよぶ停電が発生し、不安な一夜を過ごしました。幸い京都側が通行できたことで孤立を免れたこと、停電による断水の直前で復旧したことで、より大きな被害には至りませんでした。しかし、今後も倒木や崖崩れによる長期停電の可能性は残っています。

災害用備蓄品

2020年は新型コロナウイルスが猛威をふるい、通常の生活にも大きな支障が生じています。コロナは依然として終息の気配がみられないため、感染症流行下での避難所あり方が問われています。山中比叡平学区では早くから避難所の環境対策に取り組んでおり、2012年の段階ですでに体育館の中に設置するドームテントを32張、サマーベッドやGコートなどのベッドを51台、衝立を50枚、各種発電機や照明機材等を備蓄しています。大津市も2013年度に比叡平小学校に防災倉庫を設置して、仮設トイレ2基、簡易トイレ10個、毛布250枚、おむつ(大人用)240枚、小児用504枚、生理用品440個、非常食700食などを備蓄しています。今後はマスク、非接触型体温計、消毒剤、フェイスマスクなど感染症対策用の備蓄も必要になりますので(滋賀県のガイドライン2020.6.23)、学区から大津市に要求すると同時に学区でも備

えます。

山中比叡平の避難所

災害は直下型大地震(琵琶湖西岸断層帯と花折断層帯中南部)などの大災害と台風や大雨、火災などの身近な災害に分けられます。台風や大雨などの時には「コミュニティセンター」が一次的な避難所になり、警報が出たら人も詰めていきますので、そこに避難してください。収容できない場合には比叡平自治会館やまびこを開けますので連絡して下さい。さらに住民交流センターや南自治会館も利用可能です。直下型地震などでは100人を超える人々が避難する場合には比叡平小学校の体育館が避難所になります。感染症の流行期以外であれば200人弱の収容が可能です。今のような状況ではテント32張分の32世帯が限度です。その他には山中町なら山中会館、比叡平ではコミュニティセンター、住民交流センターが指定避難所になっています。福祉避難所としてやまのこひろばと児童クラブが指定されていますが、この運用計画には大きな問題があります。大津市が地域内に福祉避難所の鍵を置かず、大災害で地域が孤立した場合でも大津市の職員である初動支所職員や住民が自主的に開設することを拒んでいるからです。このままなら、災害が発生してから数日後に大津市が体制を整えて保健師などを連れてヘリコプターで駆けつけるまで福祉避難所が使えないことになり、三密を避けるためには分散避難を行うことが原則です。避難所は全て使える状態にしておかなければなりませんので、今年も大津市に改善を求めます。

これから30年以内に南海トラフの大地震が高い確率で起こります。学区内での最大予測震度は6弱と想定

改装された真ん中の進入路

長年の懸案であった比叡平真ん中の進入路が写真のように改装されました。この道路は私有地のため長年放置されてきました。この道は三丁目46～51番地の小学生の通学路にあたり、自治会として大津市に整備を要望してきました。この間、自治会は地権者に土地の無償提供をお願いしてきました。ようやく、条件が整い今回の舗装工事となりました。当時あまりにも凹凸が酷いので三丁目自治会有志でドライ生コンを使い路面を修復し、歩道確保のためロープを張ったそうです。

当時長年これにかかわった方は、出来上がった道路を見て「感無量」と喜びを語っていました

自主防災会長の私的ブログ「山中比叡平の防災」



されていますので、揺れによる被害は限定的ですが、太平洋岸では強振動と津波であらゆるものの生産が影響を受け、物流が止まります。そのためコロナ騒動どころではない物資不足が長期間にわたり続きます。停電も断水も長期間続きます。住民のみならずにもお願いです。直下型の大地震や南海トラフの大地震の場合、避難所での密集を避けるために自宅が危険でない場合には安易に避難せず、ライフラインが全て止まった状態でも自宅で一週間以上暮らせるだけの準備を常において下さい。逆に台風や大雨で自宅に水害や土砂災害の危険性がある場合には、積極的に避難して下さい。

学区自主防災会会長/久保田洋

【共催】山中比叡平学区民会議「コミュニティセンター」

子育て中の皆さん集合！「ミセンで遊ぼう！」

7月20日(月)、久しぶりの開催でした。この日は晴天に恵まれ、屋外で水遊びも楽しみました。このような時期だからお母さん子どもも息抜きが必要です。ぜひ開催日以外でも「ミセン」に遊びに来て、お喋りや、休憩をしてください。「ミセン」スタッフは全員子育て経験者です(真っ只中でもあります！) 今後の予定/8月3日・17日・31日 担当/「ミセン」職員・藤堂美由紀 連絡先/529-12299



申し込みはいりません。当日参加OK! お気軽に参加してね

10時からだよ!

次回も天気がよければ外で水遊びなどを計画しています

御存じですか?

国民健康保険料の減免について

前回は様々な給付金制度についてお知らせしました。今回は国民健康保険料の減免についてお知らせします。新型コロナウイルスの影響により収入が減少した世帯に昨年の9期・10期、今年1期・10期までの減免措置が講じられます。中身はなかなか難しいので大津市の健康保険部保険年金課にお問い合わせください。電話/077-528-2750 大津市のホームページからも見られます。

交通安全協会

こんにちは、交通安全協会です。6月の28日(日)、あいにくの梅雨空模様でしたが、毎年恒例になっています。山中町内、比叡平団地のカーブミラーの清掃活動をいたしました。木々に覆われて見通しの悪いものや、汚れで曇っているのを一つずつ確認しながら、山中町9か所比叡平16か所をクリーナーで磨き上げました。見えやすくなったカーブミラーで安全運転お願いいたします。又、飛び出し坊やも随時修理したり、新しいものに交換しています。今年も台風シーズンを前に点検に廻りたいと思います。「もうこれは、引退や」と思われるものがあればお近くの交通安全委員までご一報お願いします。

山中比叡平学区交通安全スローガン

「学区内 ルール守って 30キロ」 「通学路 あなたのスピード 気になります」 「小さな交差点 必ず減速 必ず徐行」

